

中学校第2学年「国語科」

期日 (時数)	単元名(教材名)	指導内容(学習内容)	学習指導要領の内容	対応する「ちばのやる気学習ガイド」	備考(留意点等)	
4 月 (13)		虹の足	1 「虹の足」などの比喩的な表現が表しているものを考えながら、感想を交流することをとおしてこの詩にこめられた作者の感動を読み取る。 2 比喩で題名を決め、詩を創作する。	C(1)ア 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア B(1)ウ		
		【話す聞く】 質問する力をつける	1 グループで、封筒の中に隠された言葉を当てるために、内容を考えて質問し合う。	A(1)エ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 A(2)ア	聞くこと②	
	一 言葉 が 照 ら し 出 す	タオル	1 全文を通して読み、登場人物やあらすじについて確認する。初発の感想を書き、読みの課題を整理する。 2 祖父をめぐる人々の思いを捉え、祖父の人物像について考える。 3・4 場面ごとの「少年」の心情の変化を捉え、その理由も考える。 5 「涙」に着目して、少年の変化を捉える。 6 「タオル」が果たした役割について考えをもつ。語り方の特徴とその効果を捉え、まとめの感想を書く。	C(1)ア C(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)ア	読むこと(文学的文章)①	
		【話す聞く】 図表を用いて提案する	1 全文を読み、図表を用いて提案するために、どのような順序で活動すればよいかを確認する。 2 調査などを行い、収集した情報をもとに、資料を作成する。 3 プレゼンテーションのための台本を作る。 4 資料を提示しながら、プレゼンテーションを行い、提案のあり方について友達と意見を交換する。	A(1)ア A(1)イ A(1)ウ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 A(2)ア	聞くこと①	

5月 (7)	言葉の小窓1 方言と共通語 言葉(解説)1 方言と共通語	1 『言葉の小窓 1 方言と共通語』を読んで方言で書かれた文を読み比べ、気づいたことを話し合い、方言と共通語について理解を深める。 2 第1時を踏まえ、新しい方言や社会方言について知る。方言と共通語の使い分けについて考え、自分たちの言語生活を振り返る。	伝国(1)イ(ア)		
	日本の花火の楽しみ	1 全文を通読し、筆者が読者に問いかけている一文を抜き出し、その答えを一文でまとめる。 2 第二大段落から、日本の花火の美しい形・色を実現するための花火玉の仕組みについて示されているところを抜き出す。 3 第三大段落から、花火師の理想とする花火の「形」や「変化」が示されているところを抜き出し、理想の花火について話し合う。 4 第四大段落の結論部分を踏まえながら、筆者が述べている日本の花火の魅力について、その中の一つを選び、文章にまとめる。 5 私たちの社会や日常生活の中で思い起こされる「日本の〇〇の魅力」について、文章にまとめる。	C(1)ア C(1)イ 伝国(1)イ(イ) ■言語活動例 C(2)イ	読むこと(意見文)①	
6月 (12)	【書く】 新聞の投書記事を書く	1 新聞の投書記事を書くための活動の流れと、「構成の型」を確認する。 2 「表現テーマ例集」を参考にして、投書記事のテーマを決める。 3 「構成の型」を用いて投書記事を書く。 4 自分の意見を振り返り、表現や構成に注意して、推敲する。 5 書いた文章を友達と読み合い、意見を交換する。	B(1)ア B(1)イ 伝国(1)イ(オ) ■言語活動例 B(2)イ	書くこと②-2	
	漢字の広場1 まちがえやすい漢字	1 似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深め、正しい字形で漢字を書くようにする。	伝国(1)ウ(ア) 伝国(1)ウ(イ)		

二
関係
を
掘
り
起
こ
す

		<p>言葉の小窓 2 話し言葉と書き言葉</p> <p>言葉（解説） 2 話し言葉と書き言葉</p>	<p>1 『言葉の小窓 2 話し言葉と書き言葉』を読んで、課題意識をもち、話し言葉と書き言葉の違いについて考えるため、「考えよう」の変換作業に取り組む。</p> <p>2 「考えよう」の結果をもとにして、話し言葉と書き言葉のそれぞれの特徴やその理由、特徴の生かし方などについて考える。</p>	伝国(1)イ (ア)		
		夢を跳ぶ	<p>1 『夢を跳ぶ』を読み、感想や関心をもった点などについて意見を交流する。</p> <p>2 「みちしるべ」を読み、自分の考えをまとめるための方法と手順を確認したうえで課題を決める。</p>	<p>C(1)オ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 C(2)ウ</p>		
			<p>3 課題についての理解を深めるために、マッピングなどで自分の課題を決め、図書館やインターネットを活用して資料を集める。</p> <p>4 さまざまな方法で集めた資料や情報を整理して、自分の考えをレポートにまとめる。</p>	B(1)ア		
7月(6)	三 自己をひらく	物語を読み解く	<p>1 作品を読むことと「語り直す」こととを、『ごんぎつね』についての記憶と結びつけて考える。</p> <p>2 『ごんぎつね』の四つの絵コンテから、映像や作り手の捉え方について考える。</p> <p>3 「言語の『語り』、映像の『語り』」を読み、それぞれのメディアの特性について考えを深める。</p>	<p>C(1)オ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 C(2)ア C(2)ウ</p>		
		<p>文法の小窓 1 活用のない自立語</p> <p>文法（解説） 1 活用のない自立語</p>	<p>1 名詞、指示語の種類と用法について理解を深める。</p> <p>2 連体詞、副詞、接続詞、感動詞の種類や用法について理解を深める。</p>	伝国(1)イ (エ)		
		<p>漢字の広場 2 漢字の成り立ち</p>	<p>1 漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類する。</p>	<p>伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)</p>		

9 月 (13)	四 表 現 を 見 つ め る	近代の短歌	1 声に出して短歌を読み、情景や心情を味わう。 2 鑑賞文を交流することをおして、情景や心情を示している表現に着目し、短歌にこめられた思いや感動を読み取る。	C (1)ア C (1)イ 伝国(1)ア (ア) ■言語活動例 C (2)ア	読むこと (文学的文章) ①	
			3 短歌のきまりを知り、短歌を創作する。	B (1)ウ		
		夏の葬列	1 全文を通して読み、難しい語句について調べ、あらすじを把握する。 2 物語の展開を捉え、感想の交流をおして読みの課題を設定する。 3 人物の心情の変化を捉え、それについて感想を交流する。 4 結末部分について考えを深め、話し合いをする。 5 物語の展開や表現の工夫がどのような効果をもたらしているか考える。 6 主人公の人称の使い分けを比較し、その効果について話し合う。	C (1)イ C (1)ウ 伝国(1)イ (イ) ■言語活動例 C (2)ア	読むこと (文学的文章) ③	
		【書く】 写真から物語を創作する	1 写真A, Bの人物像を設定し、比喩や描写を用いて表現する。 2 他の写真と組み合わせて人物との関連を考える。会話やできごとなどを加え、物語の筋を決める。 3 描写や比喩を用いながら、物語を創作する。 4 作品を読み返し、心情を効果的に伝える工夫について振り返る。	B (1)ウ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 B (2)ア	書くこと②-1	
		漢字の練習 1	—	伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)		
10 月 (11)		漢字の広場 3 漢字の多義性	1 漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表す。	伝国(1)イ (イ) 伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)		

五 伝 統 を 見 い だ す	敦盛の最期	<p>1 『平家物語』冒頭を歴史的仮名遣いに注意して音読し、『平家物語』の中心思想を理解する。</p> <p>2 「敦盛の最期」を歴史的仮名遣いに注意して音読し、登場人物を確認してせりふの主語を確定する。</p> <p>3 記述を根拠にして登場人物の心情を読み取ったあと、一人で、あるいは役割を決めて朗読し、作品世界を味わう。</p>	<p>伝国(1)ア (ア) 伝国(1)ア (イ) C(1)イ ■言語活動例 C(2)ア</p>	読むこと (古典) ②-1	
	随筆の味わい	<p>1 仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。</p> <p>2 『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。</p> <p>3 『徒然草』を読んで筆者の考え方を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。</p>	<p>伝国(1)ア (イ) C(1)エ ■言語活動例 C(2)イ</p>	読むこと (古典) ③	
	二千五百年前からのメッセージ	<p>1 書き下し文を音読したり暗唱したり、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。</p> <p>2 教科書の章句の中から一つを選ばせて、そのよさについて話し合う。</p> <p>3 『論語』の言葉で心に響いた表現や内容について自分の考えをまとめ、好きな孔子の言葉を暗唱させる。</p>	<p>伝国(1)ア (ア) C(1)エ ■言語活動例 (*)</p>	読むこと (古典) ①	
	【書く】 お礼の手紙を書く	<p>1 誰にどのようなお礼の手紙を書くのかを決め、手紙の形式などについて確認する。</p> <p>2 「していただいたこと」などをメモに書き出し、手紙の形式を踏まえて下書きをする。</p> <p>3 教科書P130の「推敲のポイント」にそって下書きを推敲する。</p> <p>4 友達と下書きを読み合ったあとに清書する。</p>	<p>B(1)エ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 B(2)ウ</p>	書くこと③-2	
	言葉の小窓3 敬語 言葉(解説)3 敬語	<p>1 敬語のはたらきと用法について理解する。</p> <p>2 敬語を使って手紙を書き、グループ内で紹介する。</p>	伝国(1)イ (ア)		
11月 (13)					

	坊っちゃん	<p>1 『坊っちゃん』を読み、作品の続きを予想する。</p> <p>2 さまざまな資料を参考にして、近代の小説や物語を探して読む。</p> <p>3 自分の読んだ小説や物語の内容紹介をとおして、近代文学への関心を深める。</p>	<p>C (1) オ 伝国(1) ア (イ) ■言語活動例 C (2) ウ</p>		
	水の山 富士山	<p>1 全文を通して読んで概要を捉え、小見出しを考えながら段落分けをする。</p> <p>2 事例の提示や、問いと答えの関係を確かめながら読む。</p> <p>3 富士山の恵みについての筆者の考えを捉え、それについての自分の考えをまとめる。</p>	<p>C (1) ア C (1) イ C (1) ウ 伝国(1) イ (ウ) ■言語活動例 C (2) イ</p>		
六 他者と生きる	ガイアの知性	<p>1 全文を通読し、問題と主張の関係を把握したうえで、「鯨と象」と「人間」の二つの「知性」の対比構造を捉える。</p> <p>2 第一大段落の二つの問題提起を捉え、第二大段落以降の解決に関わる重要語句を見いだす。また、第二大段落では、「鯨や象」の「高度な『知性』」の実体を捉える。</p> <p>3 第三大段落では、全体を集約する「攻撃的な知性」と「受容的な知性」の関係を捉え、それをもとにしている筆者の提言・主張の妥当性について判断する。</p> <p>4 筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめる。</p>	<p>C (1) ア C (1) イ C (1) ウ C (1) エ 伝国(1) イ (ウ) ■言語活動例 C (2) イ</p>		
		<p>5 二つの文章の特徴や、筆者の考えに対する自分の考えなどについて、論理的な構成を考えて話し、友達と自分の考えとを比較しながら聞く。</p>	<p>A (1) イ A (1) エ</p>		
	漢字の練習 2	—	<p>伝国(1) ウ (ア) 伝国(1) ウ (イ)</p>		

12 月 (11)	【話す聞く】 話を聞いて自分の考えと比べる	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分の考えを広げるための聞き方について確認する。 2 話す側、聞く側の役割を確認し、聞き手はスピーチを聞き、自分の考えと比較しながら評価する。 3 前時の学習を振り返り、友達のスピーチを聞く。 4 自分の考えがどのように広がったのかをまとめる。よりよい聞き方について友達と話し合う。 	A (1) エ 伝国 (1) イ (オ) ■言語活動例 A (2) ア	聞くこと②	
	【書く】 意見文を読み合う	<ol style="list-style-type: none"> 1 『ガイアの知性』を読み、筆者の自然観（主張）を捉え、自分の考えをもつ。 2 「序論－本論－結論」の構成で、根拠をあげて、意見文を書く。 3 書いた文章を推敲する。 4 「交流カード」や付箋などを用いて、友達と文章を読み合ったあとに、清書する。 	B (1) オ 伝国 (1) イ (オ) ■言語活動例 B (2) イ		
	文法の小窓2 活用のある自立語 文法（解説）2 活用のある自立語	<ol style="list-style-type: none"> 1 活用のある自立語について理解を深める。 2 「解説」を参考に、動詞の種類や役割について理解を深める。 3 「解説」を参考に、形容詞や形容動詞の活用や役割について理解を深める。 	伝国 (1) イ (エ)		
1 月 (9)	学ぶ力	<ol style="list-style-type: none"> 1 全文を通して読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。 2 全文を、提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。 3 筆者の主張を読むことをとおして、自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。 4 文章の構成や例示などの、表現の工夫や効果について考える。 	C (1) ア C (1) イ C (1) エ 伝国 (1) イ (オ) ■言語活動例 C (2) イ	読むこと(意見文) ①	
		<ol style="list-style-type: none"> 5 筆者の考えを踏まえて、小学校からの学びを振り返り、文章にまとめる。 	B (1) ウ		

七 自己と対話する	【書く】 四コマ漫画から意見文を書く	1 根拠が明確な文章を書くための順序や方法について理解する。 2 四コマ漫画を読んで自分の「課題」をもつ。 3 自分の考えを「事実」「理由づけ」「主張」の形で整理し、「主張」の根拠を明確にする。 4 「頭括型」「尾括型」「双括型」から構成を選び、意見文を書く。 5 書いた文章を推敲する。 6 友達と文章を読み合い、説得力のある文章について考える。	B (1)ア B (1)イ B (1)ウ B (1)エ B (1)オ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 B (2)イ	書くこと①	
	言葉の小窓4 類義語・対義語・多義語・同音語 言葉(解説)4 類義語・対義語・多義語・同音語	1 類義語と対義語の意味や特徴を理解し、例文を調べたり、考えたりして用法を知る。 2 多義語や同音語の意味や特徴を理解し、例文を調べたり、考えたりして用法を知る。	伝国(1)イ (イ)		
	漢字の練習3	—	伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)		
2 月 (12)	レモン哀歌	1 「レモン」のもつ意味や作者の実像などを重ねて詩を朗読することで、作品の世界を味わう。	C (1)ウ C (1)エ 伝国(1)イ (イ) ■言語活動例 C (2)ア		
	【話す聞く】 反対意見を想定して話すには	1 話し合いのテーマを決定し、自分の立場とその理由、根拠を考え、反対意見を想定し、答えを考えて話す。	A (1)ア A (1)イ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 A (2)ア		
	文法の小窓3 付属語のいろいろ 文法(解説)3 付属語のいろいろ	1 教材文と「解説」を読み、助詞や助動詞のはたらきについて理解する。 2 助詞の役割とはたらき、助動詞の種類とはたらきについて理解する。	伝国(1)イ (エ)		

	八 考 え を 交 流 す る	漢字の広場 4 同音の漢字	1 同音の漢字について理解し、身のまわりの同音語を見つける。	伝国(1)イ (イ) 伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)		
		走れメロス	1 全文を通読し、新出漢字や難意語句について理解する。 2 全体の構成を捉えると同時に、第一場面、第二場面を音読し、状況(場面)設定や、人物設定についてまとめる。 3 第三場面、第四場面を音読し、できごとをまとめるとともに、そのことについての自分の考えもまとめる。 4 第五場面、第六場面を音読し、メロスとセリヌンティウスの言動や心情、ディオニスの変化を捉え、そのことについて自分の考えをまとめる。 5 シラーの『人質』と比べ読みをすることにより、『走れメロス』に特徴的な点を明らかにする。 6 語りの特徴を踏まえて読みをまとめ、感想や意見を交流することによって自分の考えをもつ。	C(1)イ C(1)エ 伝国(1)ア (ア) ■言語活動例 C(2)ア	読むこと(文学的文章) ②-2	
			7 サイドストーリーとして「空白の三日間」を自由に想像し創作することで、読みを深める。	B(1)ウ		
3 月 (8)		【話す聞く】 役割を決めて討論する	1 社会生活の中から話題を決め、自分の考えをもつ。 2 「話すこと」「聞くこと」の既習事項を確認する。また、役割や討論のあり方を理解する。 3 テーマと役割を決めて、グループで討論を行う。 4 前時の課題を踏まえ、役割を変えて、討論を行う。 5 討論を振り返り、役割を決める意義について考える。	A(1)オ 伝国(1)イ (オ) ■言語活動例 A(2)イ		
		漢字の練習 4		伝国(1)ウ (ア) 伝国(1)ウ (イ)		

中学校第2学年「社会科」

期日 (時数)	分野	単元名(教材名)	指導内容(学習内容)	学習指導要領の内容	対応する「ちばのやる気学習ガイド」 (令和3年3月にHP掲載予定)	備考(留意点等)
4月 (6)	歴史的 分野	第4章 近世の日本 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	○ 章の導入(写真・年表・絵画・イラストなどの資料)	(4) のア	ステップチェック 第4章 近世の日本 (1) ヨーロッパ人來航と織田, 豊臣の統一事業	中世ヨーロッパ・ルネサンス・宗教改革・大航海時代・ポルトガルとスペイン・アメリカの植民地化・オランダの台頭・織田信長の統一事業・豊臣秀吉の統一事業・宣教師の追放・検地と刀狩・海外貿易と朝鮮侵略・豪華で壮大な文化・ヨーロッパ文化の影響
			1 キリスト教世界とルネサンス			
2 ヨーロッパと外の世界						
3 ヨーロッパ人との出会い						
4 織田信長・豊臣秀吉による統一事業						
5 兵農分離と朝鮮侵略						
6 桃山文化						
5月 (12)		2節 江戸幕府の成立と鎖国	1 江戸幕府の成立と支配の仕組み	(4) のイ	ステップチェック 第4章 近世の日本 (2) 江戸幕府の政治の特色	江戸幕府の成立・幕藩体制の確立・大名や朝廷の統制・武士と町人・村と百姓・厳しい身分による差別・朱印船貿易と日本町禁教と貿易統制の強化島原・天草一揆と鎖国・中国とオランダ
			2 さまざまな身分と暮らし			
3 貿易の振興から鎖国へ						
4 鎖国下の対外政策						
6月 (12)	3節 産業の発達と幕府政治の動き	1 農業や諸産業の発達	(4) のウ・エ	ステップチェック 第4章 近世の日本 (3) 産業や交通の発達と町人文化の形成	農業の進歩・諸産業の発達・交通路の整備・三都の繁栄・綱吉の政治と正徳の治・元禄の学問と文化・享保の改革・貨幣経済の広がり・百姓一揆と差別の強化・田沼の政治・寛政の改革・財政難に苦しむ諸藩・国学と蘭学・異国船打払令と大塩の乱・天保の改革・雄藩の成長	
		2 交通路の整備と都市の繁栄				
		3 幕府政治の安定と元禄文化				
		4 享保の改革と社会の変化				
		5 田沼の政治と寛政の改革				
		6 新しい学問と化政文化				
		7 外国船の出現と天保の改革				
章のまとめ ▽深めよう	・この時代の特色をとらえる。	(4) のア～エ				
	・この時代の歴史の学習を確認する。					
【地理】 第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本の姿	1 日本をいくつかの地域に分けよう	1 日本の位置を調べよう	(2) のア	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (1) 日本の地域構成	竹島, 北方領土, 尖閣諸島	
		2 日本と世界の時差をとらえよう				
		3 日本の領域の特色を見てみよう 日本列島を構成する島々				
		4 いろいろな見方で都道府県を探ろう				
		5 日本をいくつかの地域に分けよう				
第2章 世界から見た日本の姿 1節 世界から見た日本の	1 世界の地形	1 世界の地形	(2) のイの(ア)	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (2) 世界と比べた日本の地域的特色	縮尺, 方位, 等高線, 地図記号	
		2 日本の山地と海岸				
		3 日本の川と平地				

7月 (6)	自然環境	地形図の読み取り方①			
		4 世界から見た日本の気候			地震, 津波, 減災
	2節 世界から見た日本の人口	5 自然災害と防災への取り組み			
		1 世界の人口分布と変化	(2) のイの(イ)		人口分布
	3節 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業	2 世界の人口と過疎・過密問題			
		1 世界の資源・エネルギーと産業	(2) のイの(ウ)		再生可能エネルギー 電力をめぐる問題
2 日本の資源・エネルギーと環境問題					
3 日本の農林水産業					
4 日本の工業					
5 日本の商業・サービス業					
	4節 世界と日本の結び付き	[深めよう]さまざまな発電方法の特徴と課題			
		1 グローバル化が進む世界	(2) のイの(エ)		国際貿易 情報通信網
	第3章 日本の諸地域	2 日本各地を結ぶ交通・通信			
		1 九州地方の生活の舞台	(2) のウの(エ)	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 ア 九州地方	火山活動 環境問題
2 九州地方の人々の営み					
3 多様な環境問題と環境保全の取り組み					
4 工業化・都市化にともなう地域への影響					
5 持続可能な社会を創る					
	1節 九州地方 環境問題・環境保全に 向き合う人々の暮らし	[深めよう]屋久島の自然と人々の生活			
		2節 中国・四国地方 都市と農村の変化と 人々の暮らし	(2) のウの(オ)	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 イ 中国・四国地方	瀬戸内海
1 中国・四国地方の生活の舞台					
2 中国・四国地方の人々の営み					
3 都市の役割とその課題					
4 高齢化が進む農村と町おこし					
	3節 近畿地方 歴史の中で形作られて きた人々の暮らし	5 交通網の発展による地域の変化			
		※[深めよう]本州四国連絡橋と地域の結び付き			
	4節 中部地方 活発な産業を支える 人々の暮らし	1 近畿地方の生活の舞台	(2) のウの(イ)	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 ウ 近畿地方	観光地(京都・奈良) 商業都市
		2 近畿地方の人々の営み			
3 古都の成り立ちと現在					
4 都市と郊外の成り立ち					
5 現代に開発されたニュータウン					
	4節 中部地方 活発な産業を支える 人々の暮らし	※[深めよう]琵琶湖と環境保全の歩み			
		1 中部地方の生活の舞台	(2) のウの(ウ)	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 エ 中部地方	日本の屋根 中央高地 地場産業
2 中部地方の人々の営み					
3 工業の発展と地域の変化					
4 自然環境を生かした各地の農業					
5 世界と結び付く中部地方					
11月 (12)					

地理的分野

		※[深めよう]北陸の食文化			
	5節 関東地方 さまざまな地域と結び 付く人々の暮らし	1 関東地方の生活の舞台 2 関東地方の人々の営み 3 首都・東京と各地との結び付き 4 各地との結び付きで成り立つ産業と生活 5 世界への窓口・日本の中心 ※[深めよう]人口集中の課題と対策—横浜市を事例に考える	(2) のウの(キ)	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 オ 関東地方	太平洋側の気候 人口密度 都市機能
	6節 東北地方 伝統的な生活・文化や 災害からの教訓を受け つぐ人々の暮らし	1 東北地方の生活の舞台 2 東北地方の人々の営み 3 祭りや芸能、年中行事の伝統とその始まり 4 伝統を生かし、生まれ変わる伝統産業 5 過去からの継承と未来に向けた社会づくり ※[深めよう]産業を活性化させる人の流れ—仙台市を事例に考える	(2) のウの(カ)	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 カ 東北地方	民俗行事 祭り 伝統工芸
12月(9)	7節 北海道地方 雄大な自然とともに 生きる人々の暮らし	1 北海道地方の生活の舞台 2 北海道地方の人々の営み 3 自然の制約に適応する人々の工夫 4 自然の制約や社会の変化を乗り越える 5 自然の特色を生かした観光産業 [深めよう]アイヌの人たちと多文化共生	(2) のウの(ア)	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域 キ 北海道地方	冷涼・寒冷な気候 先住民民族と開拓
	第4章 身近な地域の調査	1 身近な地域を見直そう 地形図の読み取り方② 2 テーマを決めて調査計画を立てよう 3 さまざまな調査方法① 野外観察や聞き取り調査をしよう 4 さまざまな調査方法② 資料を調べて調査を深めよう 5 調査結果をまとめ、地域を見直そう 6 発表会をして地域の将来像を考えよう	(2) のエ	ステップチェック 第2章 日本の様々な地域 (4) 身近な地域の調査	縮尺・地形図
1月(9)					
	【歴史】 第5章	章の導入			イギリス革命・アメリカ合衆国の独立・啓蒙思想・フランス革命

		開国と近代日本の歩み	1 近代改革の時代			スの絶対土政・フランス革命・産業革命・資本主義と社会主義・ロシアの拡大・アヘン戦争・中国の半植民地化・インドの植民地化・ペリーの来航・不平等な通商条約・尊王攘夷運動・開国・世直し一揆・倒幕・大政奉還・王政復古	
2月 (12)	歴史的 分野	1節 欧米の進出と日本の開国	2 産業革命と19世紀のヨーロッパ	(5) のア・イ	ステップチェック 第5章 近代の日本と世界 (1) 欧米諸国の近代化とアジアへの進出		
			3 ロシアとアメリカの発展				
			4 ヨーロッパのアジア侵略				
			5 開国と不平等条約				
			6 尊王攘夷運動と開国の影響				
			7 江戸幕府の滅亡				
			2節 明治維新			1 新政府の成立	(5) のイ・ウ
		2 明治維新の三大改革					
		3 富国強兵と文明開化					
		4 近代的な国際関係					
		5 国境と領土の確定					
		6 自由民権運動の高まり					
		7 立憲制国家の成立					
3月 (3)							

中学校第2学年「数学科」

時期 (時数)	単元名(教材名)	指導内容(学習内容)	学習指導要領の内容	対応する「ちばのやる気学習ガイド」	備考(留意点等)
4 月 (6)	1章 式と計算			1章 文字を用いた式の四則計算「式の計算」〈準備問題①〉	
	1節 式と計算			1章 文字を用いた式の四則計算「式の計算」〈準備問題②〉	
	1 単項式と多項式	・単項式と多項式の意味／式の次数の意味	A(1)ア		
	2 同類項	・同類項の意味／同類項をまとめること	A(1)ア		
	3 多項式の加法, 減法	・多項式の加法と減法	A(1)ア		
	4 単項式と単項式との乗法	・単項式と単項式との乗法	A(1)ア		
	5 単項式を単項式でわる除法	・単項式を単項式でわる除法	A(1)ア	1章 文字を用いた式の四則計算「式の計算」〈基本問題〉	
6 多項式と数との計算	・多項式に数をかける計算／多項式を数でわる計算	A(1)ア			
5 月 (12)	7 式の値	・式を簡単にしてから式の値を求めること	A(1)ア	1章 文字を用いた式の四則計算「式の計算」〈応用問題①〉	
	◎練習			1章 文字を用いた式の四則計算「式の計算」〈応用問題②〉	
	2節 式の利用				
	1 いろいろな数量とその調べ方	・文字を使った式で数量を調べること	A(1)イ	1章 文字を用いた式の四則計算「文字式の利用」〈準備問題①〉	
	2 数の性質とその調べ方	・数の性質を文字を使って説明すること	A(1)イ	1章 文字を用いた式の四則計算「文字式の利用」〈準備問題②〉	
	3節 関係を表す式			1章 文字を用いた式の四則計算「文字式の利用」〈基本問題〉	
	1 等式の変形	・等式を目的に応じて変形すること／比の性質の説明	A(1)ウ		
	1章の問題			1章 文字を用いた式の四則計算「文字式の利用」〈応用問題①〉	
				1章 文字を用いた式の四則計算「文字式の利用」〈応用問題②〉	
	2章 連立方程式			2章 連立二元一次方程式「文字を用いた式」〈準備問題①〉	
	1節 連立方程式			2章 連立二元一次方程式「文字を用いた式」〈準備問題②〉	
	1 2元1次方程式とその解	・2元1次方程式とその解の意味	A(2)ア		
6 月 (12)	2 連立方程式とその解	・連立方程式とその解の意味	A(2)ア・イ	2章 連立二元一次方程式「文字を用いた式」〈基本問題〉	
	3 連立方程式の解き方と代入法	・文字の消去／代入法による連立方程式の解き方	A(2)ウ		
	4 加減法	・加減法による連立方程式の解き方	A(2)ウ		
	5 加減法で解くための工夫	・係数の絶対値が異なる連立方程式の解き方	A(2)ウ	2章 連立二元一次方程式「文字を用いた式」〈応用問題①〉	
	6 かっこ, 小数, 分数をふくむ連立方程式	・かっこ, 小数, 分数をふくむ連立方程式の解き方	A(2)ウ		
	7 いろいろな連立方程式	・連立方程式を適当な方法で解くこと／ $A=B=C$ の形の方程式	A(2)ウ	2章 連立二元一次方程式「文字を用いた式」〈応用問題②〉	
	◎練習			2章 連立二元一次方程式「連立方程式の利用」〈準備問題①〉	
	2節 連立方程式の利用			2章 連立二元一次方程式「連立方程式の利用」〈準備問題②〉	
	1 連立方程式を使った問題の解き方	・連立方程式を使って問題を解決するための考え方と手順	A(2)ウ	2章 連立二元一次方程式「連立方程式の利用」〈準備問題③〉	
	2 速さの問題と連立方程式	・速さに関する問題を, 連立方程式を使って解くこと	A(2)ウ		
	3 濃度の問題と連立方程式	・濃度に関する問題を, 連立方程式を使って解くこと	A(2)ウ	2章 連立二元一次方程式「連立方程式の利用」〈基本問題〉	
	4 割合の問題と連立方程式	・割合に関する問題を, 連立方程式を使って解くこと	A(2)ウ	2章 連立二元一次方程式「連立方程式の利用」〈応用問題①〉	

	2章の問題			2章 連立二元一次方程式「連立方程式の利用」〈応用問題②〉	
7月	3章 一次関数			3章 一次関数「事象と一次関数」〈準備問題〉	
(6)	1節 一次関数			3章 一次関数「一次関数の表、式、グラフ」〈準備問題①〉	
	1 関数	□つの数量を見だし、いろいろな関数関係を調べること	C(1)ア	3章 一次関数「一次関数の表、式、グラフ」〈準備問題②〉	
	2 1次関数	□次関数の意味/1次関数と比例の関係	C(1)イ		
	3 1次関数の値の変化のようす	□次関数の値の変化のようす	C(1)イ		
	4 変化の割合	□変化の割合の意味	C(1)イ	3章 一次関数「事象と一次関数」〈基本問題〉	
	5 1次関数のグラフ [1]	□次関数のグラフは直線になること/1次関数のグラフと比例のグラフとの関係/グラフの切片	C(1)イ		
	6 1次関数のグラフ [2]	□グラフの直線の傾き/直線の式	C(1)イ	3章 一次関数「一次関数の表、式、グラフ」〈基本問題①〉	
9月	7 1次関数のグラフのかき方	・1次関数のグラフのかき方	C(1)イ	3章 一次関数「一次関数の表、式、グラフ」〈基本問題②③〉	
	8 直線の式の求め方	・グラフから直線の式を求める方法	C(1)イ	3章 一次関数「一次関数の表、式、グラフ」〈基本問題④〉	
(9)	9 1次関数の表・式・グラフ	・1次関数の式の求め方/1次関数の表・式・グラフの関係	C(1)イ	3章 一次関数「一次関数の表、式、グラフ」〈応用問題①②③〉	
	◎練習				
	2節 方程式とグラフ			3章 一次関数「二元一次方程式と関数」〈準備問題〉	
	1 2元1次方程式のグラフ	・2元1次方程式の解とグラフ/2元1次方程式と1次関数	C(1)ウ	3章 一次関数「二元一次方程式と関数」〈基本問題①〉	
	2 方程式のグラフのかき方	・2元1次方程式のグラフのかき方/x軸に平行になるグラフ/y軸に平行になるグラフ	C(1)ウ	3章 一次関数「二元一次方程式と関数」〈基本問題②③〉	
	3 グラフと連立方程式	・連立方程式の解と2つの2元1次方程式のグラフの交点	C(1)ウ	3章 一次関数「二元一次方程式と関数」〈基本問題④〉	
	3節 1次関数の利用			3章 一次関数「二元一次方程式と関数」〈応用問題〉	
	1 1次関数とグラフ	・身のまわりにある問題を、1次関数を使って解決すること	C(1)エ		
	2 1次関数と実験	・実験の結果から、1次関数を見だし、数量の関係を調べること	C(1)エ	3章 一次関数「事象と一次関数」〈応用問題〉	
10月	3 1次関数と図形	・図形の中に1次関数を見だし、1次関数を利用して問題を解決すること	C(1)エ		
(12)	3章の問題				
	4章 平行と合同				
	1節 角と平行線			4章 図形の調べ方「平行線と角」〈準備問題〉	
	1 いろいろな角	・対頂角、同位角、錯角の意味/対頂角の性質	B(1)ア		
	2 平行線と角	・平行線の性質/平行線であるための条件	B(1)ア		
	3 三角形の角	・三角形の内角と外角の性質	B(1)ア	4章 図形の調べ方「平行線と角」〈基本問題①〉	
	4 図形の性質と補助線	・図形の性質を、補助線を使って調べること	B(1)ア		
	5 多角形の内角	・多角形の内角の和を帰納的に導く	B(1)イ	4章 図形の調べ方「平行線と角」〈基本問題②〉	
	6 多角形の外角	・多角形の外角の和を、多角形の内角の和から演繹的に導く	B(1)イ		
	7 図形の性質の調べ方	・星形の5つの角の和が 180° であることを調べる	B(1)イ	4章 図形の調べ方「平行線と角」〈応用問題〉	

	◎練習			
	2節 図形の合同			4章 図形の調べ方「図形の合同」〈準備問題〉
	1 合同な図形	・合同な図形の性質／多角形が合同であるための条件	B(2)ア	4章 図形の調べ方「図形の合同」〈基本問題①〉
	2 三角形の合同条件	・三角形の合同条件とその意味	B(2)ア	4章 図形の調べ方「図形の合同」〈基本問題②〉
	3 合同な三角形	・三角形の合同条件を使って合同かどうかを判断すること	B(2)ア	4章 図形の調べ方「図形の合同」〈応用問題〉
11	4 三角形の合同条件の使い方	・三角形の合同条件を使って図形の性質を説明すること／証明の意味	B(2)イ	4章 図形の調べ方「図形の性質の確かめ方」〈基本問題①〉
月	5 仮定と結論	・仮定, 結論の意味	B(2)イ	4章 図形の調べ方「図形の性質の確かめ方」〈基本問題②③④〉
(12)	6 証明のしくみ	・証明のしくみ／証明のよりどころとなることから	B(2)イ	4章 図形の調べ方「図形の性質の確かめ方」〈応用問題〉
	3節 平行と合同の利用			
	1 多角形の性質の利用	・多角形の性質を利用して, いろいろな角の和を求めること	B(2)イ	
	2 合同な図形の性質の利用	・合同な図形の性質を利用して, 問題を解決すること	B(2)イ	
	4章の問題			
	5章 三角形と四角形			
	1節 三角形			
	1 定義	・定義の意味／二等辺三角形, 正三角形の定義	B(2)ウ	
	2 二等辺三角形の性質	・二等辺三角形の性質／定理の意味	B(2)ウ	
	3 二等辺三角形であるための条件	・二等辺三角形であるための条件／命題の逆の意味	B(2)ウ	5章 図形の性質と証明「逆と反例」〈基本問題〉 5章 図形の性質と証明「三角形の性質」〈基本問題①〉
	4 直角三角形の合同条件	・直角三角形の合同条件とその証明	B(2)ウ	
	5 直角三角形の合同条件を使った証明	・直角三角形の合同条件の利用	B(2)ウ	5章 図形の性質と証明「三角形の性質」〈基本問題②〉
	◎練習			5章 図形の性質と証明「三角形の性質」〈応用問題〉
12	2節 四角形			5章 図形の性質と証明「平行四辺形の性質」〈基本問題①〉
月	1 平行四辺形	・平行四辺形の定義／平行四辺形の性質	B(2)ウ	5章 図形の性質と証明「平行四辺形の性質」〈基本問題②〉
(9)	2 平行四辺形の性質	・平行四辺形の性質の定理の証明	B(2)ウ	
	3 平行四辺形の性質と定理の逆	・平行四辺形の性質の定理の逆とその証明	B(2)ウ	
	4 平行四辺形であるための条件	・平行四辺形であるための条件	B(2)ウ	
	5 平行四辺形であるための条件の使い方	・平行四辺形の性質と条件の利用	B(2)ウ	5章 図形の性質と証明「平行四辺形の性質」〈応用問題〉
	6 いろいろな四角形— [1]	・ひし形, 長方形, 正方形の定義／ひし形, 長方形, 正方形と平行四辺形との関係	B(2)ウ	
	7 いろいろな四角形— [2]	・いろいろな四角形の性質と対角線／四角形の相互関係	B(2)ウ	
	8 平行線と面積	・三角形や四角形の等積変形	B(2)ウ	5章 図形の性質と証明「平行線と面積」〈応用問題〉
	◎練習			
1	3節 三角形や四角形の性質の利用			
月	1 三角形や四角形の性質の利用	・三角形や四角形の性質を利用し, 身近なことから調べる	B(2)ウ	
(9)	5章の問題			

	6章 確率			
	1節 確率			
	1 起こりやすさ	・ ことからの起こりやすさを調べる方法	C (1) ア	
	2 相対度数の変化のようす	・ 多数回試行における相対度数の変化と傾向	C (1) ア	
	3 確率	・ 確率の意味／同様に確からしいことの意味	C (1) ア	
	2節 確率の求め方			
	1 確率の求め方ー [1]	・ 確率の求め方	C (1) イ	
	2 確率の求め方ー [2]	・ 起こり得る場合の数に着目し、確率を考える	C (1) イ	
	3 確率と場合の数	・ 樹形図などを使った確率の求め方	C (1) イ	6章 確率「確率の意味と求め方、確率の利用」〈基本問題①〉
	4 確率の求め方の工夫	・ 表を使っていろいろな確率を考える	C (1) イ	6章 確率「確率の意味と求め方、確率の利用」〈基本問題②③〉
2・3 月 (18)	◎練習			
	3節 確率の利用			
	1 確率の利用	・ 確率を用いて問題を解決し、説明すること	C (1) イ	6章 確率「確率の意味と求め方、確率の利用」〈応用問題①②〉
	6章の問題			
	7章 データの分布			
	1節 箱ひげ図			7章 データの分布「箱ひげ図」〈準備問題〉
	1 四分位数と四分位範囲	・ 四分位数、四分位範囲の必要性と意味／四分位数や四分位範囲を求めること	新D (1) ア (7)	7章 データの分布「箱ひげ図」〈基本問題①〉
	2 箱ひげ図	・ 箱ひげ図の必要性と意味／箱ひげ図に表すこと	新D (1) ア (4)	7章 データの分布「箱ひげ図」〈基本問題②〉
	3 箱ひげ図とヒストグラム	・ 箱ひげ図とヒストグラムを関連づけてデータの分布のようすを読み取ること	新D (1) ア (4)	
	2節 箱ひげ図の利用			
	1 箱ひげ図の利用	・ 箱ひげ図からデータの分布の傾向を読み取り比べること	新D (1) イ	7章 データの分布「箱ひげ図」〈応用問題①②〉
	「データの分布」			

中学校第2学年「理科」

時期 (時数)	単元名(教材名)	指導内容(学習内容)	学習指導要領の内容	対応する「ちばのやる気学習ガイド」 (令和3年3月にHP掲載予定)	備考
4月 (12)	1章 物質の成り立ち	1 熱分解	熱分解について	(4) ア (ア)	「酸化銀の熱分解」 「炭酸水素ナトリウムの熱分解」 「日常生活における熱分解」
		2 水の電気分解	水の電気分解について		「水の電気分解」 「日常生活における電気分解」
		3 物質をつくっているもの	原子・分子やいくつかの化学式について	(4) ア (イ)	(前年度までの復習)
		A 原子			
		B 分子			
C 化学式					
5月 (12)		D 単体と化合物		(4) イ (ア)	
	2章 いろいろな化学変化	1 物質が結びつく化学変化—化合	化合について	(4) イ (ア)	「鉄と硫黄の化合」 「鉄と硫黄の化合」
		A 鉄と硫黄の化合			目標②「銅と硫黄の化合」
		B 銅と硫黄の化合			
		2 化学反応式	化学変化を化学反応式で表す		
		3 酸素と結びつく化学変化—酸化	酸化について	(4) イ (ア) (イ)	目標①「スチールウールの燃焼」
		A 金属の燃焼			「燃焼」
		B 有機物の燃焼			「有機物の燃焼」
C 穏やかな酸化					
4 酸素をうばう化学変化—還元	還元について	(4) イ (イ)	「酸化銀の加熱」 「酸化銅の還元」 「酸化銅の還元」		
6月 (16)	3章 化学変化と物質の質量	1 質量保存の法則	化学変化の前後で物質の質量の総和が等しいこと	(4) ウ (ア)	(前年度までの復習) 「化学変化の前後の質量の関係」
		2 化合する物質の質量の割合	化合する物質の質量の間には一定の関係があること	(4) ウ (イ)	「銅(マグネシウム)と酸素の化合」
	4章 化学変化と熱の出入り	1 熱を発生する化学変化	化学変化には熱の出入りがともなうこと	(4) イ (ウ)	「携帯カイロ」 「日常生活で活用されている発熱反応」 「生体が体温を保てるのは」
		2 熱を吸収する化学変化			「熱を吸収する化学変化」

	終章 (2)	原子をもとに考えよう	二酸化炭素中で燃えるマグネシウムの実験について	(4) イ (ア) (イ)	
		まとめ・単元末問題			
	身近な動物の観察	身近な動物の観察	観察の視点や方法を身につける	(3) ウ (ア)	
	1章 細胞のつくりとはたらき	1 細胞のつくり 2 細胞のはたらきと生物の体	細胞と組織, 器官といった体のなりたちについて	(3) ア (ア)	「細胞のつくり」
7月 (8)	2章 生命を維持するはたらき	1 呼吸	呼吸運動のしくみについて	(3) イ (ア)	目標①「呼吸器官のつくり」 目標④「呼吸器官のはたらき」
		2 血液とその循環 A 血管と血液	血液成分や血液の循環について		目標③の1 「毛細血管とその中を流れる血液」
		B 心臓と血液の循環			目標③の2「血液の循環」 目標③の3「血管」
		3 消化と吸収 A 食物 B 消化	消化器官のはたらきと食物のゆくえについて		「デンプンに対するだ液のはたらき」 目標②「消化器官とはたらき」
		C 吸収と利用			目標④「養分の吸収」 目標③の2 「生命を維持するはたらき」
9月 (12)		B 消化 C 吸収と利用 D 排出			P96「デンプンに対するだ液のはたらき」 P95目標②「消化器官の名称とはたらき」 P97目標④「養分の吸収」 P99目標②「排出するしくみ」
10月 (16)	3章 行動のしくみ (8)	1 運動器官	感覚器官や神経系, 運動器官のつくりと働きなどについて	(3) イ (イ)	P104目標①「感覚器官と運動器官」
		2 感覚器官			P104目標②の1「目のつくりとはたらき」 P105目標②の2「見物つくりとはたらき」
		3 神経系			P106「刺激と反応」
	動物のなかま (7)	1 セキツイ動物と無セキツイ動物 2 セキツイ動物のなかま	セキツイ動物の特徴とその分類について	(3) ウ (ア)	P108～110
		3 無セキツイ動物のなかま	無セキツイ動物の特徴について	(3) ウ (イ)	
11月 (16)	終章 (2)	酵素のはたらきを調べよう	酵素のはたらきについて	(3) イ (ア)	P97目標⑤「消化酵素のはたらき」
	(1)	まとめ・単元末問題			P102目標⑤「養分の吸収・循環・排出」
	1章 電流と回路 (16)	1 回路の電流 2 回路の電圧 3 電流・電圧の関係と抵抗	回路を流れる電流の大きさについて 回路の各部分に加わる電圧の大きさについて 電流の流れにくさを抵抗で表す	(3) ア (ア) (3) ア (イ)	P14目標①「回路, 回路図」 P16目標③「回路図」 P15目標②「電流・電圧の大きさ」 P17～18「回路図から電流・電圧の大きさを求める」 P20～25

12月 (12)	2章 電流と磁界 (8)	4 電流のはたらき	電気とそのエネルギーについて	(3) ア (ウ)	P27～28		
		1 電流がつくる磁界	磁石や電流の流れているコイルのまわりにできる磁界について	(3) イ (ア)	P34～37		
		2 電流が磁界から受ける力	磁界の中を流れる電流が磁界から力を受けることについて	(3) イ (イ)	P39～42		
		3 電磁誘導と発電	磁界の中で発生する電流について	(3) イ (ウ)	P44～47		
	4 直流と交流	直流と交流のちがいについて					
1月 (12)	3章 電流の正体 (5)	1 静電気	静電気の性質及び静電気と電流の関係について	(3) ア (エ)	P31～32		
		2 静電気と電流					
		3 電流と電子					
		4 放射線	放射線の性質と利用について				
	終章 (2)	どれだけ電流が流れたか	電気器具に流れる電流の大きさについて	(3) ア (イ)	P29		
(1)	まとめ・単元末問題						
2月 (16)	1章 気象観測	1 気象とわたしたちの生活	気象情報と私たちの生活について	(4) ア (ア)	P117		
		2 身近な場所の気象	気象観測の観測方法や記録のしかた	(4) ア (ア)	P114、P115		
		3 天気の変化	晴れた日・雨や曇りの日における、1日の気温や湿度の変化の特徴	(4) ア (ア)	P116		
	2章 大気中の水蒸気の変化	1 空気中の水蒸気の変化	雲や霧の発生について	(4) イ (ア)			
		2 雲ができるわけ	雲や霧の発生について	(4) イ (ア)	P119～120		
		3 雨や雪のでき方	雨や雪のでき方について	(4) イ (ア)	P121、P122目標④		
		4 水の循環	大気中の水の循環と、それを引き起こす太陽エネルギーについて	(4) イ (ア)	P122目標⑤		
3章 前線の通過と天気の変化	1 気圧配置と風	気圧配置と天気や風向・風力について	(4) イ (イ)	P124～125			
	2 前線と天気の変化	高気圧・低気圧・前線の通過にもなう気象要素や天気の変化について	(4) イ (イ)	P126～128			
3月 (8)	4章 日本の気象	1 日本の気象の特徴	日本の気象の特徴について	(4) ウ (ア)	P130		
		2 大気の動き	海陸風や季節風が生じることについて	(4) ウ (イ)	P132		
		3 四季の天気	四季の天気の特徴について	(4) ウ (ア)	P131		
		自然のめぐみと気象災害	気象現象がもたらす恵みと気象災害について				
	終章 (2)	雨が激しくなるのはいつか	気象観測の結果や気象情報をもとにした天気の変化について	(4) イ (イ)			
	(1)	まとめ・単元末問題					

中学校第2学年「英語科」

期日 (時数)	単元名(教材名)	学習指導要領の内容	対応する「ちばのやる気学習ガイド」	備考(留意点等)
4 月 (10)	<u>Classroom English</u> 英語を使ってみよう	Come to the front. / Go back to your seat. / Can I ask a question?, etc.	(2) ア (ウ) a	
	辞書を読んでもみよう	英和辞典にはどんな内容が書かれているのかを再確認する。	(3) ウ (ア)	
	<u>Did You Enjoy Your Vacation?</u> 新学期, 由紀はウッド先生に会う。	一般動詞・不規則動詞/be動詞の過去形/過去進行形 対話: 一般動詞・不規則動詞。 ①I went to Kyoto with my friends.	(3) エ (エ)	英語2 ユニット1 過去を表す文
		I took a lot of pictures there.		
		対話: 過去の状態を表現。 ②I was busy with my homework.	(3) エ (エ)	
		Was it difficult? The math questions were very difficult for me.		
		発表: 過去のあるときにしていたこと。 ③What was she doing ? She was playing tennis with her friends.	(3) エ (エ)	英語2 ユニット2 過去進行形
	W: 連休の思い出	ある程度まとまった文章の書き方	(1)エ (エ)	
	英語のしくみ①	過去形 (一般動詞, be動詞) /過去進行形		
5 月 (8)	<u>A Trip to Finland</u>	未来表現 be going to ~ / I will ~. / It will be ~.	(3) エ (エ)	
		由紀がマイクに旅行について話す。 対話: 予定や計画を言える。 対話: 気持ちや考えを言える。 メール: 未来のことを伝える。		英語2 ユニット4 未来を表す文
		①I' m going to play soccer with my friends. Are you going to play at the park?	(3) エ (エ)	
	・フィンランドへ行く前と着いてからのスケジュールを由紀がマイクに話す。メールを送る。	②I will answer it. ③Will it be sunny? It' ll be fun.		
6 月 (13)	<u>What Can We Do for Others?</u> Charity Walkについて知る。	must/have to, don' t have to ~ / I think (that) ~.		
		web pageの案内文: 義務や命令。 ①You must wait for dinner. 対話: 必要性について言える。 ②Do we have to buy a cake for her? We don' t have to.	(2) (ウ) d (2) (イ)	英語2 ユニット5 may, must,shallなどを使った文

	・ 武史はCharity Walkの情報をネットで集め, リサからアメリカの話聞く。リサと相談し, 自分たちも学校で企画して本やCDを売る。	対話: 考えを言える。 ③I think (that) that' s too early for me. I don' t think (that) I' ll be late.	(1)イ (イ) (3)エ (イ)	英語2 ユニット8 主語+that/knowなど+that~の文
	S: 電話① (依頼する・誘う)	Will you ~? / Shall we ~? / Yes, let' s.	(2)ア (ウ) e	英語2 ユニット5 may, must,shallなどを使った文
	英語のしくみ②	未来表現 義務を表す表現 (must, have to, should)/ 接続詞that	(3)エ (エ) (2)ア (ウ) e	英語2 ユニット4 未来を表す文 英語2 ユニット5 may, must,shallなどを使った文
	スキット作りをたのしもう	対話をつなげる方法: 相手の話の内容を確認/ 相づちをうつ/相手の発言内容について質問する/ 自分の意見や感想を言う	(1)イ (イ) (2)ア (ウ) a, (2)ア (ウ) e	英語2 ユニット8 主語+that/knowなど+that~の文 英語2 ユニット5 may, must,shallなどを使った文
7月(5)	Eigo Rakugo 古典落語を英語で楽しむ	Reading(復習)	(1)ウ(ウ)	
9月(9)	Gulliver' s Travels 『ガリバー旅行記』についての対話	①There is / are ~. There is a good restaurant near here.	(3)エ(イ) f	英語2 ユニット3 There is/areを使った文
		②複文 When you called me, I was sleeping in bed. If it' s sunny, I' ll go cycling with my brother.	(3)エ(ア) a	英語2 ユニット11 条件や時を表す文
	ファーストフード店で	May I help you? I' ll have a hamburger, ~. What size cola would you like, small, medium, or large? Would you like anything else?	(2)ア(ウ) a (3)エ(ア) d	
10月(12)	A Work Experience Program 職場体験を通して, 由紀, 武史, 桃子が将来の夢について語る。	不定詞 ①名詞的用法 I want to be a music teacher. Do you want to sing with students? ②副詞的用法 I went to Tokyo to see my aunt. ③形容詞的用法 I want something to drink .	(3)エ(カ)	英語2 ユニット10 不定詞を使った文
	インタビュー記事を書く	不定詞などの既習事項 イントネーション, 音声変化	(3)エ(カ)	英語2 ユニット10 不定詞を使った文
	英語のしくみ ③	There is / are 構文, 接続詞when / if, 不定詞 イントネーション, 音声変化, 区切り	(3)エ(イ) f (3)エ(ア) a	英語2 ユニット3 There is/areを使った文 英語2 ユニット11 条件や時を表す文

11 月 (12)	If You Wish to See a Change セヴァン・カリス=スズキが、長年取り組んでいる活動と自身の信念について語る。	①動名詞 I enjoy playing tennis. I like playing tennis too. ②SV(=look / become) C(形容詞) You look really cool. ③SVOO I'll give you a present tomorrow.	(3)エ(キ)	英語2 ユニット6 動名詞	
			(3)エ(イ)b	英語2 ユニット7 主語+look/sound+～の文	
			(3)エ(イ)d	英語2 ユニット 主語+giveなど、～に・・・を の文	
	道案内①	Would you like some help? Could you tell me the way to the station?	(2)ア(ウ)d		
		How long will it take? It' ll take about five minutes.			
	英語のしくみ④	動名詞, SV(=look / become) C(形容詞), SVOO イントネーション, 音声変化, 区切り	(3)エ(キ) (3)エ(イ)b (3)エ(イ)d	英語2 ユニット6 動名詞 英語2 ユニット7 主語+look/sound+～の文 英語2 ユニット 主語+giveなど、～に・・・を の文	
12 月 (12)	スピーチをしようーこんな人になりたい	不定詞などの既習事項	(3)エ(カ)	英語2 ユニット10 不定詞を使った文	
	Friendship across Time and Borders イラン・イラク戦争のときにトルコの人たちが日本人を救出してくれたこと背景にある、日本とトルコの友好関係を紹介	on the way home because of keep up ~			
1 月 (10)	A Video Project 交換留学生に送る学校紹介ビデオを作る。 対話: 2つのものを比べる表現。 発表: 3つ以上のものを比べる表現。 ・武史はソフトテニスについて、桃子は合唱コンクールについて紹介する。	比較表現 ~er than.../ the ~est/ as ~ as... ①It's smaller than Japan. France is larger than Japan. ②The Nile River is the longest river in the world. ③He's as big as yours.	(3)エ(オ)	英語2 ユニット13 比較を表す文(1)①	
	S: 買い物②(シャツを買う)	Do you have ~ ? / I'll take it.			

<p>2 月 (12)</p>	<p>So many Countries, So Many Customs. 友だちに外国での体験談を話す。 対話:長い形容詞の比較級 対話:…より～が好き。 ～がいちばん好き。 発表 ・桃子とマイクが、ホームステイ先での受け入れ方の違いと言語の特性の違いでそれぞれ異文化体験をする。 対話:2つのものを比べる表現。 発表:3つ以上のものを比べる表現。 ・武史はソフトテニスについて、桃子は合唱コンクールについて紹介する。</p>	<p>長い形容詞の比較表現more～than, the most～、/ like ～ better than…、like ～ the best</p> <p>①It was more difficult than Questions 1 and 2. It was the most difficult of all the questions.</p> <p>②I like summer better than winter. I like summer the best.</p>	<p>(3)エ(オ)</p>	<p>英語2 ユニット14 比較を表す文(2)①</p>	
	<p>W&S: 賛成意見・反対意見を言おう</p>	<p>Which is better, summer or winter? Why?</p>			
<p>3 月 (12)</p>	<p>Yui-To Share Is to live. 白川郷についての発表。 レポート発表:「～される」。 レポート発表:「…によって～される」。 体験を発表:①②をもとに、自分にとって特別なものを紹介する文章を書く。 ・白川郷には日本の伝統的な生活スタイルが残っていて、今でも住民が協力して生活している。</p>	<p>受動態 be+過去分詞+(by～)</p> <p>①They are made in Hokkaido. ②It was written by my grandfather.</p>	<p>(3)エ(ケ)</p>	<p>英語3 ユニット1 受け身の文</p>	
	<p>L:観光ガイドの説明を聞き取ろう</p>	<p>大きさ、距離、場所の聞き取り</p>			
	<p>英語のしくみ⑤</p>	<p>比較級・最上級の文 受け身を表す文</p>			
	<p>CMをつくらうーこんなものがほしい CMの構成を学ぶ。 CMで使える表現を練習する。 台本を書く。 発表する。</p>	<p>コマーシャルの組み立て This is the most useful ～./ If you buy ～./ Check it out!, etc.</p>	<p>(3)エ(オ)</p>	<p>英語2 ユニット14 比較を表す文(2)①</p>	
	<p>Her Dream Came True. 亡き父の夢を果たすために娘のめぐみさんは…。 手紙 物語 物語 [内容把握の確認] ・世界を旅したかった父の夢は娘のアイデアでテディベアに託されることになり、世界中を回った。</p>	<p>Reading(復習)</p>			